

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1183
施設名	にじの森保育園
施設所在地	荒川区南千住8-13-1
法人名	社会福祉法人三樹会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・自然（主に植物）に関わる中で、子どもたちが主体的に探究活動に取り組み、園生活をドキドキワクワクしながら過ごす。
- ・子どもたちの「何だろう?」「不思議だな」「どうして?」「してみたい!」「おもしろい!」という気づきを大切にしていく。

<テーマの設定理由>

- （テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
- ・当園は都立公園内にあり、普段から草花や虫などの自然物が身近な存在となっている。その恵まれた環境を存分に保育に活かしたいと考えた。
- ・隣接している汐入公園管理センターにご協力いただき、専門知識を持った職員の方の植物講座を企画して子どもたちがより自然への関心が高められると予想した。

2. 活動スケジュール

- 8月 アドバイザー（大学教授）との打ち合わせ
- 9月 汐入公園に散歩に行く（散策）
- 10月 汐入公園に散歩に行く（事前に図鑑で調べてから出かける）
- 12月 たぬき公園に散歩に行く
（出かける前に木の葉の色、落ち葉や冬の寒さ等自然の変化等を投げかけておく）
- 1月 土手で芝滑りを楽しむ
- 2月 植物講座に参加する。（講師 汐入公園サービスセンターの方）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- （活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
- ・図鑑、虫眼鏡
- ・ベンチ
- ・虫網
- ・飼育ケース
- ・タブレット
- ・汐入公園公園管理センターとの連携（園内のハーブに触れ、名前や特性を教えていただく）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・アドバイザーと共に子どもたちがどんなことに興味関心を持っているかを探った。(9月)
- ・公園内の木々や植物、キノコを観察した。
- ・どんぐりに興味を持ち、拾い集め友達と形を比べたり虫探しをしたりしていた。(10月)
- ・公園の行き先を変え、いつもとは違った景色、自然を子どもたちと探した。(12月)
- ・芝滑りに行き、冬ならではの芝の感触を味わった。(1月)
- ・子どもたちと自然発見隊になり、気になる植物について事前に公園で採取した。
後日夕入公園サービスセンター職員の方に身近な植物や公園内の木々、ハーブについて講義していただいた。(2月)

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・自然にテーマを絞って子どもの行動やつぶやきの記録をとるようにしたところ、想像以上に
よく観察して深く物事をとらえているということが浮き彫りになった。
- ・植物に焦点を当て、あそびの様子を静かに見守るようにしたところ、今後の環境構成のヒントが
多く得られた。
- ・以前から野菜の栽培を行っていたが、すくわくに取り組むようになってから自ら図鑑を手取るようになり、
気の合う友達同士で植物の葉や実について会話する場面が増えた。



この葉っぱ、
カサカサって
音がするよ。

あ！キノコ
見つけた！



いいにおいが
する。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・テーマを決める→問を考える→生活作り(計画する)→探究活動を実践し、記録する→振り返り共有する
という流れでアドバイザーの助言を活かしつつ、すくわくに取り組んできた。次は子どもたちと
どんなことをしようかと考えることがとても楽しいと感じた。
- ・普段何気なく聞いている子どもたちのつぶやきや行動それぞれに面白い発見があることを知った。
- ・これからも子どもの声に耳を傾け、今どんなことに興味や関心を持っているかを
とらえ、環境構成を工夫して探究活動を楽しんでしていきたい。
- ・アドバイザーの助言を受けながら職員間で子どもの姿を振り返り、共有できたことは
とても有意義だった。